

UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2013

3年生 浦羽 哲平
千葉県 八千代松陵高等学校出身

3年生 野間 裕記子
三重県 皇學館高等学校出身

2年生 吉田 真弥
千葉県 稲毛高等学校出身

1年生 秋葉 千晶
千葉県 長生高等学校出身



今日は、4年目を迎えた海外研修 (UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2013) に参加した4名の学生にお話を伺いました。

皆さんが、この研修に参加しようと思ったきっかけは？

(秋葉) 大学の授業で光本先生がよく、「日本の薬剤師がんばれ！」って仰っていて……。私はまだ1年生で、日本における薬剤師の社会との係合いについては限られた一面しか見えていないけど、とにかく世界の薬剤師はどんな風に社会と繋がっているのかなってすごく興味があって。

(野間) 私も、日本とアメリカの医療や薬剤師の違いを知ってみたい。今回の研修ではアメリカの薬学教育にも触れる機会があるって聞いたから……。ちょうど大学では医療系の学内実習が終わったところだから、実際の医療の現場もそうだけど、アメリカの「大学」との違いなんかも気付けたらいいかなって思って。実は私はこれが初海外なんだ (笑)

(吉田) 私も初めての海外なんです。正直、これまで大学のイベントなんかには積極的に参加する方ではなく……。でも、ちょうど1年前に、この海外研修に参加した先輩たちの報告会を聞いて、「よし、これに挑戦しよう！」って思ったんです。これまで、なんとなくだけ「頑張れない自分」がいて、これをきっかけに「自分を変えたい」って思って。だから研修に係る費用なんかも1年間アルバイトして貯めて、頑張ってきたんです。

(浦羽) 吉田さん、すごい！その頑張りを見習わなきゃ (笑) 僕はいろいろなことを思っても、なかなか実行に移せないことが多く……。正直、今の僕は将来に漠然とした不安があって、最近なんとなくのモトリアムな毎日を過ごしているなって思っていたから、少し違った環境に自分を置いてみようかな〜、って思って参加を決めたんだ。実は小さい頃、2年ほどアメリカで生活していたから、原点復帰ではないけど、海の外に出たら何か見えるのかな？って期待して。

実際に研修に参加して、「何」を感じましたか？

(吉田) 私は、医療に携わる人の「強さ」が一番印象に残りました。実は研修中に貧血で病院に行ったんですが、診察して下さったドクターの威厳っていうのが、威風堂々とした姿にちょっと感動しました。それでいて患者である私には、何か安らぎという安心感を与えてくれて……。普通、威厳のある人って、近寄りたがって思っちゃうけど、どこか安心できて。医療人とかの枠を超えて、そんな人間性を私も身につけたいなって思っちゃいました。

(浦羽) ホント、医療に携わる人たちの人間性って、「スゴイな」って思えたよね。日本の薬剤師さんも

きっとスゴいんだろうけど (あんまり自分が病院に行ったりしないせいもあるけど、そのスゴさに触れていないだけなのかもしれないけど)、僕はアメリカの薬剤師さんは何かすごく身近な存在に感じたんだ。例えば WAL MART みたいな Retail Pharmacy (日本のドラッグストアみたいな感じ) では、調剤室の周りに高齢者の介護・福祉用品や乳幼児用の商品が陳列されていて、医療を含めた生活全般を支援しているって感じがすごかったし、患者さんともすごく気さくに会話もしていたしね。

(野間) 私も (残念ながら)、研修中に病院のお世話になったんだけど、ちょっとしたことで血液検査から尿検査、いろいろな検査を受けて……。すごいサービスだなって思っちゃった。まあこういうサービスにはお金も付随するから一長一短はあるのかもしれないなあ〜、なんて考えちゃったりもして。

(秋葉) アメリカって裁判の国っていうから、やっぱり医療においてもしっかりと「evidence」を残しているのかもしれないですね。研修中に Loma Linda 大学の Hamada 先生が、「Show me the evidence」って仰っていたのも私にとっては印象的でした。Evidence って「根拠」なんて普通は訳すけど、例えば私たち一人ひとりの「evidence」ってとても重要だなって思いました。「私はこういう人間です。私はこういうことができます。」って他人に理解してもらうには「evidence」が必要になる時があるんだろうなって。もし、「今の君という人間の evidence を見せてくれ」なんて言われても、今の私では、何も見せられるものなんてないですもん (笑)

(吉田) そういう考え方って、本当にアメリカ的だなんて感じるよね。研修中に立ち寄った全米日系人博物館では、「日本のジャーナリズムのあり方はおかしい。日本には隠す文化がある。」って言うお話を聞いた時なんか、「はっ」としちゃいましたもん。国民性、文化伝統って言ったらそれまでだけど、外からは違う見方をされているんだなってことに気付かされました。よく客観的って言葉を使うけど、まさにこういうことを客観的って言うのかなあ〜？って。あるいは、これがグローバルってことなのかな。

(野間) きっとこういうことって、正しいとか正しくないとか、善悪や是非の問題では片付けられないことなんだよね。きっと。人はみんな一人では生きていけないし、仲間がいるコミュニティーやそれを取り巻く社会環境があって初めて人は成り立つものだから、その環境社会で生活してみて、一人ひとりが満足できる生活を送ることができれば、それが一番なのかなって思う。でも、一つの社会しか知らなければ、それが本当の意味でいい社会かどうかなんて分かんないから、いろんな社会に積極的に参加するってことがとても大事なことだと思う。今回研修に参加して、私自身もはじめてそういう考え方をしたから、少しは成長できているのかなって (笑)

(浦羽) そうだね。確かに研修中に出会った人たちって、すごく僕たちのことを理解しようとしてくれていたって思うよね。自尊心はあるようにも感じただけど、他者に対して否定的なことは言わないし……。寛容って言うのかな。でも、そういうのも吉田さんの言うた「強さ」と関係してるんだろうなって。

(秋葉) 私はこの研修でいろいろな人と出会って、なんか「自分らしさを見失ってたな」って感じちゃいました。本当の「自分らしさ」ってものが、自分自身まだ分かっていないのかも知れないけど……。でも、もっといろんなことにチャレンジして「自分らしく」ありたいと思った研修でした！

これからの自分が、何か見えましたか？

(秋葉) 本当に、夢の夢になっちゃうかもしれないけど、どこか本気で「Pharm D.」を目指したいなって思っています！薬剤師としてアメリカで働きたいって！

(浦羽) 僕は正直そこまで遠い未来を描くことはできなかったけど、とりあえずまだまだ在学中に国際関係のアクティビティに参加しようかなって。FAPA っていうアジア薬剤師連合の国際学会に毎回学生が参加しているって言うから、来年はそれにチャレンジしようかなって思っている。新しい環境に自ら積極的に足を運んで、ただ運ぶだけじゃなくて、しっかりと身につけるものも身につけたいなって。だから英語力は最低でも、、、もっと磨かなきゃ (笑)

(野間) 私は4月からお料理教室に通うんだ！なんで料理教室？って思われるかもしれないけど、今まで何となく億劫な性格があって、半歩前に踏み出せない自分がいたけど、この研修を体験してみて「もっとやりたいことに積極的になろう」って決めたから、まずはお料理教室に行くことにしたんだ (笑)

(吉田) 私も、「もっと、知りたい」って思えるようになったかな。正直、薬剤師とか医療ってことにみんな興味を持っていない自分がいるんだけど、「知る」ことでいろんな興味が湧いてくるってことがこの研修で解ったから。病院薬剤師の方や調剤薬局の薬剤師さん、それから MR の方など既に社会で活躍している先輩何かとも積極的に交わりたいと思っています。

最後に一言、お願いします

(秋葉) 私はチャンスがあるんだったら、もう一度この研修に参加してみたいと思っています。この研修で出会えた人たちと、今更に「もっとしゃべりたい」って思っている自分がいるし、その土地に生活している方とももっとお話ししとけばよかったって思ってるから。経験してわかることって、けっこうたくさんあるんだけど、わかったことを次に活かさなきゃね。だから、この研修にはもう一度参加してみたいな。

(吉田) 私もまだ行きたい！本当にお世話になった Mr. Edmund に会いたいな。でも次に会うまでには、もっと自分を磨かなきゃ。それから、この研修に参加しようか迷ってる人がいたら、私は「是非、参加してみよう！」って言いたい！私も1年間のアルバイトでなんとかなったしね。でも時期が時期だから、試験勉強もしっかりやらないと、後が大変なことになるからネ (笑)

(浦羽)、,,,,,,、 そうだね (笑)。僕はこの研修にもまた参加したいし、もっと他の世界も覗いてみたいなって思っている。出会いは僕の宝物。人と人とのつながりを大事にしたいなって感じた2週間だったし、人とのつながりを大事にしたいからこそ、僕も自分磨きを怠ることなく続けていかなきゃって。

(野間) 私は今度は違う海外研修があったら、そっちに参加してみたいな。深く知ることが大事なのはわかるけど、まずはちょっと広く知りたいかなって。でも、いつもチャレンジする気持ちを忘れないでいたいし、気持ちだけではなく、行動に移せるようになるから学生生活を送っていきたくて！

「遠くの大病院よりも、近くの頼れる薬剤師に！」

超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。

従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を養成します。

UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2013

今年で4回目を迎える、UCR-JIU Pharmacy Internship Programに14名（3年生:10名、2年生:3名、1年生:1名）の学生が参加しました。姉妹校であるUCR（University of California, Riverside）のエクステンションセンターを拠点とし、Loma Linda University, School of PharmacyやWestern Universityなどの大学施設見学やArrowhead HospitalやCVS Pharmacyなど医療機関を訪問しました。



小林 悟 教授 (医療安全学研究室) 退官記念講演会



平成25年3月末で城西国際大学 薬学部を退官される、小林悟教授の退官記念講演会が平成25年3月8日に開催されました。平成20年に本学に赴任され5年間で短い間でしたが、「医療安全」における薬剤師の使命と義務に関する教鞭をとられ、また日本貿易振興会 医薬品専門部会委員や日本脂質栄養学会 理事なども多方面にご活躍されました。今後のご活躍とご健勝を祈念いたします。ありがとうございました。

2013年度生 募集 大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程

城西国際大学 入試・広報センター TEL: 0475-55-8855 E-mail: admis@jiu.ac.jp <http://jiu.ac.jp/pharmacy/graduate/index.html>